

科 目 名	保育・教職実践演習(幼・小)					開 講 キャンパス	神 園	
担 当 者	金久 慎一・佐藤 範男・松井 克行・櫻井 京子・川上 貴 中村美枝子							
開 講 年 次	4	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択	
授業の概要 及びねらい	教職課程で、これまでに学習した内容や教育実習経験について振り返り、教職の使命や職務についての自覚と決意を抱くようにすることに主眼をおく。とりわけ、幼児と児童を理解する視点に立って、学級経営、指導計画等、これからの子どもに必要な教育内容と方法について、講義やグループ討議、模擬授業などを通して習得させる。また、現職教員の講義も位置づけることによって、教育現場の諸状況を理解し、教員としての必要な資質能力の向上を図るようにする。							
授 業 の 到 達 目 標	1 これからの教員に求められる資質と能力について理解できる。 2 保幼小の連携を推進する上での課題について理解できる。 3 幼児・児童の実態を的確に把握して理解を図ることができる。 4 幼児や児童の実態を反映した学級経営案、学習指導案、保育指導案を作成し、それに沿った模擬保育ができる。 5 教職課程の各教科で学習した内容を統合し、教師に必要な能力についての自己評価ができるとともに、今後の自己課題と努力目標を明確にできる。							
学 習 方 法	演習 講義 グループ討議							
テキスト及 び参考書等	必要に応じて提示する。							
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%			
定期試験	◎	◎			50			
小テスト等								
宿題・授業外レポート		○			20			
授業態度			○		10			
受講者の発表		○	○	◎	10			
授業への参加度		○	○	○	10			
その他								
合 計						100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)								
第 1 週	オリエンテーションと面接を実施し、教科・教職・教育実習等の自己振り返りと本学習への意欲をもつようにする。							
第 2 週	保育現場において子どもを理解するためにはどうすればよいかについて、「育ての心」を通して学び考える。							
第 3 週	保育現場における保護者への対応について学び考える。							
第 4 週	保育者による保護者支援、家庭支援のあり方について学び考える。							
第 5 週	保護者支援、家庭支援の具体的な方法について学び考える。							
第 6 週	授業を展開するために考えておかなければならないことについて話し合う。(教材解釈 教材研究 児童理解)							
第 7 週	授業の展開過程における指導技術について話し合う。(発問 板書等)							
第 8 週	いじめの問題について小学生自身が学習できる授業について考え合う。(教材研究)							
第 9 週	多文化社会の進展に伴う、これからの小学校・幼稚園・保育所の教員や保育士の対応についての理解を深める。							
第 10 週	集団討議を行い、「学校生活に関する指導(不審者対応等)」について考える。							
第 11 週	集団討議を行い、「授業に関する指導(○○が苦手な子)」について考える。							
第 12 週	集団討議を行い、「問題行動に関する指導(いじめ等)」について考える。							
第 13 週	集団討議を行い、「問題行動に関する指導(不登校・小1プロブレム)」について考える。							
第 14 週	小学校の現職教員の講義を通して、児童理解と学級経営マネジメントのかかわりについて考えを深める。							
第 15 週	まとめ(レポートテストを含む)							
第 16 週								
備 考	授業前にはそれまで学習した内容を振り返り、本時学習で学ぶべき内容の確認をしておくこと。授業後は、記録ノートをもとに、理解できた内容を確認すること。2班に別れ、オムニバス形式で授業を行う。							